

平成 2 9 年 度
事 業 報 告 書

平成 3 0 年 5 月
一般社団法人 特殊鋼倶楽部

一般情勢と倶楽部活動の概要

日本経済は、需要面では、雇用・所得環境が改善するなか、消費でも持ち直しが見られ、外需も世界的な景気回復を背景に増加傾向にあります。国内鉄鋼需要については、自動車向けや産業機械向けを中心に堅調に推移し、海外鉄鋼需要についても緩やかな伸長が継続しています。一方で、米国をはじめとする各国の保護主義的な動きや原材料・エネルギー価格の上昇等の不安定要因やリスクに直面しています。

こうした状況の中で、平成29年度の粗鋼生産量は、前年度比0.3%減の1億484万トンとなりました。

特殊鋼生産（熱間圧延鋼材ベース）は、前年度比4.8%増の2,060万トンと2年連続の増加で3年ぶりに2,000万トンを超えました。国内向け特殊鋼生産（熱間圧延鋼材ベース実績見込み推計値）は、前年度比5.0%増の1,370万トンとなりました。需要の大宗を占める自動車産業は、国内四輪車生産台数が前年度比3.4%増の968万台と2年連続で増加しました。車種構成では乗用車の普通車、軽四輪車は前年度比増加となる一方、小型四輪車は前年度比減少となりました。特殊鋼使用比率の大きいトラック及びバスについては、トラックは増加に転じましたが、バスは3年連続での前年度比減少となりました。

平成29年度の輸出向け特殊鋼生産（熱間圧延鋼材ベース実績見込み推計値）は、前年度比2.2%減の645万トンとなりました。また、鋼材輸入は、前年度18.4%減の82万トンと2年連続の減少で100万トンを下回りました。

こうした状況を踏まえ、特殊鋼倶楽部としては、会員への的確かつ充実したサービス向上を図り、選択と集中を念頭に財源の有効活用と有益で効率的な事業を確実に推進するとともに、業界を巡る国内外の諸問題に迅速に対応し、その解決に努めて参りました。

平成29年度は、従来からの活動に加え、特殊鋼ガイド初級編の改訂・発行、工場見学付き新人（東日本ブロック地区）研修の実施、業界紹介パンフレットの発行及び映像コンテンツ制作・公表、特殊鋼ブランディング活動の推進、特殊鋼鋼材需給月報の政府統計から業界自主統計への移行に向けた検討、貿易保険申請マニュアルの作成、未来志向型の取引慣行に向けた検討及び経済産業省への要望書提出、通商問題に関する経済産業省への要望書提出、名古屋ステンレス流通協会の事務局業務受託等を新たに実施しました。

総務・経理面では、業務改革を継続しました。貿易保険業務を事務局職員複数体制で実施し安定的な事業継続を図りました。当倶楽部が加入していた厚生年金基金の28年度末解散を受けた対応、会長からの委員委嘱状発出等の委員会委嘱手続きの明確化、働き方改革を受けた職員残業時間管理の改善等を進めました。その他自律的な総務・経理面の諸改善を、公認会計士の指導を受けながら、図りました。

一般社団法人特殊鋼倶楽部 平成29年度事業報告

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

I 定款第4条第1号事業：特殊鋼商品知識の普及及び啓発

1. 広報事業

(1) 広報誌「特殊鋼」の発行 年6回（29年度事業は29年5月号から30年3月号まで）

平成29年5月号 1GPaを超える高張力鋼板（超ハイテン）と成形加工技術（発刊済）

7月号 特殊鋼の進化を支えるシミュレーション技術（発刊済）

9月号 会員流通各社の紹介（発刊済）

11月号 軸受および軸受用鋼の動向（発刊済）

平成30年1月号 IOT社会と特殊鋼（発刊済）

3月号 特殊鋼のマイクロ組織のやさしい解説（発刊済）

1) 平成30年1月号「IOT社会と特殊鋼」：電子情報技術産業協会（IOTとは）、経産省製造産業局ものづくり政策審議室（我が国製造業におけるIOT推進に向けた取組みについて）、トヨタIT開発センター、デンソー、コマツ、日本ロボット工業会、日立金属、メタルワン、金沢大学、日本電気等（IOTへの各業界の取組み・製品での対応と課題・関連技術動向）等に執筆依頼した。

2) 平成29年度は、前年度同様特殊鋼誌は定期購読260部、書店経由販売64部、海外定期購読5部、合計で約330部が有料販売、200部会員配布、寄贈又は資料交換で500部程度を無料配布している。

(2) ホームページによる広報

会員専用ページに、28年度市場開拓調査委員会報告書（「特殊鋼業界及び関係他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」）の説明会資料、28年度海外委員会調査報告書（「欧米の特殊鋼需給動向報告書」）の説明会資料、その他特殊鋼倶楽部主催説明会等資料（①「平成29年度工場見学付新人（東日本ブロック地区）」研修講座講演資料（株式会社メタルワン）、②「自動車産業をめぐる最近のトピックス」説明会資料（日本自動車工業会）、③「2017年版不正貿易報告書」説明会資料（経済産業省）、④「取引問題」説明会資料（特殊鋼倶楽部）、⑤「中国進出日系企業によくある問題事例とその対応策」講演会資料（JETRO）、⑥「自動車産業 激動の技術革新」の講演会資料（日本自動車部品工業会）、特殊鋼統計月報4月号～3月号を掲載した。

公開ページについては、速やかな記事掲載に努め、かつ公開ページ中の直近掲載記事は判りやすくするため赤字でNEWと表示した。広報誌「特殊鋼」の平成28年5月号から29年3月号までの全文PDFを掲載した（21年1月号から29年3月号まで全文PDF閲覧可能にした）とともに、29年5月号から30年3月号は目次のみ掲載した。

通商問題に関する会長コメントを掲載した（1.（4）報道発表・広報活動参照）。

就活生など一般社会に対する特殊鋼業界紹介パンフレット・映像のスペシャルサイトを設け掲載した（3.（4）参照）。

（3）「特殊鋼ガイド」の内容見直し

「特殊鋼ガイド」の内容見直しについては、平成24年に中断したままとなっていたが、平成27年9月11日の編集委員会で、特殊鋼ガイド編集委員会を再編し編集委員会に附属するWGに位置づけなおし、「決定的におかしいところは直し、JIS等古いものはアップデートする」との方針の元で小改訂する方向付けで作業を再開することを決定した。

28年2月10日に特殊鋼ガイド編集委員会を開催し、「特殊鋼ガイド初級編」について上記方針で改定作業を進めること、改訂作業の分担及び今後のスケジュール、平成28年度事業計画案及び予算案を審議・決定した。

3月29日の平成27年度第4回理事会で特殊鋼ガイド編集委員会を編集委員会に附属する特殊鋼ガイド編集WGへと位置づけなおすことを承認した。

その後、「特殊鋼ガイド編集WG」を4回開催し、原稿修正作業を進めた。

新JIS引用の確認を日本規格協会及び日本鉄鋼連盟標準化センター事務局に行ったところ引用範囲の縮小等を求められたため（ステンレス協会は全面的引用了解）、以下の方針で内容再見直しを行った。

- ・ 本ガイドがJIS規格の改正の都度即時に対応できないため、JIS規格から引用する図表類には「最新版参照」の透かし文字を重ねるとともに、表題にも「JIS規格利用にあたっては、必ず最新年度のJIS規格票を参照すること」の文言を付す。
- ・ 機械構造用鋼の機械的性質等JISの規定ではなく、JISハンドブックで参考情報として掲載されている図、表は、鋼材取引で実用上の数値として誤使用される事例が散見されることから、図、表からは「削除」し、文章で説明する（あるいはJISの規定でないことが明確になるよう作り直す）。

これにより、新JIS引用範囲をそれ程縮小することなく、その他内容についても詳細部分を見直し最終校正を行った。JIS引用許可関係については12月中旬に日本鉄鋼連盟標準化センター

事務局の JIS 引用承認を得、続く 1 2 月末には最終的に日本規格協会の JIS 引用承認を得た。、
3 月 1 日付で「特殊鋼ガイド・初級・改訂版」（平成 2 年以来の改訂）として発行した。

(4) 報道発表・広報活動

通商問題に関して、会長コメントを 5 月 1 2 日に「米国における工具鋼を含む日本製厚板に対するアンチダンピング措置の最終決定について」報道発表するとともにホームページに掲載した。

石黒会長就任記者会見を 7 月 1 2 日に行った。

「未来志向型の取引慣行に向けて「世耕プラン」に関する要望」書を 1 1 月 3 0 日に経済産業省金属課に提出するとともに、報道発表、ホームページ掲載を行った。

特殊鋼倶楽部主催の各種説明会・講演会・工場見学会等について特殊鋼関連報道関係者に都度、周知した。また、特殊鋼関連報道関係者と事務局間での定期的な（原則として月一回の）情報交換・意見交換を実施した。

2. 市場開拓調査事業

(1) 調査WG

2 9 年度調査事業テーマについて、6 月 8 日開催の市場開拓調査委員会にて「自動車のマルチマテリアル化」に決定。8 月 2 9 日の調査WG で調査委託先を日鉄住金総研(株)を選定した。

1 1 月 2 7 日で中間報告会を開催し、3 月 6 日に最終報告書案検討会を開催した。3 月末に、最終報告書を取りまとめた。

(2) 特殊鋼PR展示・講演会WG

① 講演会

1) 2 8 年度調査事業の報告説明会

以下のとおり 3 地区で開催した。

演題 「特殊鋼業界及び関係他業界等における B C P 対応に関する調査」報告書の解説

講師 神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部調査二部 北浦 伸幸 氏、河田 和久 氏

開催日 平成 2 9 年 6 月 1 3 日 東京地区 (聴講者 2 4 名)

6 月 1 9 日 大阪地区 (聴講者 3 8 名)

6 月 2 0 日 名古屋地区 (聴講者 3 5 名)

2) 「自動車産業をめぐる最近のトピックス」の説明会

以下のとおり 3 地区で開催した。

演題 「自動車産業をめぐる最近のトピックス」の解説

講師 日本自動車工業会 調査・電子情報システム室 室長 持田 弘喜 氏

開催日 平成29年7月11日 東京地区（聴講者60名）

7月13日 大阪地区（聴講者78名） ※三団体共催

7月14日 名古屋地区（聴講者83名） ※三団体共催

3) 「自動車産業、激動の技術革新」講演会

以下のとおり開催した。

演題 「自動車産業、激動の技術革新」の解説

講師 日本自動車部品工業会 技術顧問 松島 正秀氏 氏

開催日 平成29年11月13日 東京 （聴講者80名）

② 特殊鋼PR展示

第4回高機能金属展（29年4月5～7日、東京ビッグサイト）にて、協会ブース1小間（6m×3m）の展示を行った（来場者147名）。

6月8日に市場開拓調査委員会を開催し、以下を決定した。

次回の高機能金属展（平成30年12月5～7日、幕張メッセ）への参加継続することを決定した。

3. 人材確保並びに育成に関する事業

(1) ビジネスパーソン研修講座の実施

本講座は、特殊鋼倶楽部人材確保育成委員会が人材育成事業の一環として、全日本特殊鋼流通協会東京支部との共催により、毎年度タイムリーなテーマを選定し実施している。

平成29年度のビジネスパーソン研修講座のテーマは「～お客様から納得度高く評価いただける営業～営業提案スキル強化研修」と題し、①あるべき「営業」スタイルの理解…必要なスキルの確認、②現状の自分自身の見直し…補強すべきスキルの整理、③「気づきや学び」の後輩指導へ連携…チーム力強化をねらいとし、自発的営業の考え方を習得できる内容として以下のとおり開催した。

開催日 平成30年2月19日、20日

講師 日鉄住金総研(株)ビジネスソリューション部 野田 一臣 氏

参加者 40名（男性35名、女性5名）うち全特協分が10名

(2) 特殊鋼教養講座（新人・若手社員向け）「特殊鋼業の未来と求められる人物像」の実施

昨年度と同様に会員会社の新入社員、入社5年位の若手社員を対象に、特殊鋼業界の全体像、取り巻く環境、今後の課題と展望、求められる人物像をテーマとして、講演、グループディスカッション、懇親会からなる講座を3地区で実施した。

東京：平成29年8月28日（受講者32名）

大 阪：平成29年9月22日（受講者43名）

名古屋：平成29年9月26日（受講者38名）

(3) 工場見学付新人（東日本ブロック地区）研修講座の実施

平成29年度新たに全日本特殊鋼流通協会東京支部との共催により、座学と工場見学をセットにした工場見学付新人研修講座を2日間かけて実施した。（受講者35名）

座 学：平成29年4月18日

①特殊鋼販売技士入門編 講師：浜小路 氏

②特殊鋼流通 先輩からのメッセージ

【問屋】「特殊鋼営業マンへのメッセージ」碓井鋼材(株) 田村 氏

【商社】「変化の時～入口と出口 特殊鋼の魅力」(株)メタルワン 船倉 氏

工場見学：平成29年4月19日

大同特殊鋼(株) 知多工場

(4) 業界紹介パンフレットの発行・映像コンテンツ制作及び公表

平成29年6月、一般社会へのPRを含んだ就活生、求職者向けの特殊鋼業界紹介パンフレットを発行、また特殊鋼ムービーを制作し、特殊鋼倶楽部ホームページへ掲載した。

(5) 学生など一般社会に対する、特殊鋼の認知度向上に向けたポスターの作成

平成29年12月、特殊鋼は日本のものづくりに必要不可欠となっているものの、その重要性が一般社会に広く認知されていないとの問題意識下、特殊鋼の認知度向上に向けた取組として「実はすごいんだ、日本の特殊鋼」PRポスターを作成した。

(6) 業界紹介パンフレット「夢みる鉄」キャラクターぬいぐるみ制作

平成29年12月、業界紹介パンフレット「夢みる鉄」のキャラクターを具現化して、鉄の硬い取っつき難いイメージを和らげ、愛着を持っていただけるようにとぬいぐるみを制作した。

3月に、ぬいぐるみの愛称を賞品を用意し会員及び会員外に広く募集を開始した。5月1日締め切りで、5月29日の当倶楽部総会で愛称発表予定。

(7) 特殊鋼ブランディング活動

学生など一般社会に対する特殊鋼ブランディング活動推進の一環として、以下の通り実施した。

①会員各社：上記ポスターを来客スペースや地域において人が目にするような場所（学校、ショッピングモール、駅、病院等）に掲示協力依頼。

②大学・高等専門学校：・校内にパンフレットの設置、ポスターの掲示を協力依頼。

・学校に出向いた特殊鋼業界紹介セミナーの案内。

(8) 特殊鋼及び関連産業の工場見学会

以下の工場見学を企画・実施した。

- ① 9月6日 (株)日立パワーソリューションズ大沼工場、日新健商(株)競輪場外車券売場「サテライト水戸」(参加者数18名)
- ② 10月6日 (株)神戸製鋼所真岡製造所(参加者数20名)
- ③ 12月15日 山陽特殊製鋼(株)本社工場(参加者数52名)
- ④ 3月8、9日 住友金属鉱山(株)ニッケル工場及び東予工場(参加者数16名)

II 定款第4条第2号事業：特殊鋼に関する諸統計の収集及び提供

1. 特殊鋼の生産・需給及び特殊鋼関連産業の統計

(1) 特殊鋼鋼材需給月報(経産省金属課所管の承認統計の受託統計調査事業)の集計

- ① 29年度も継続して特殊鋼鋼材需給月報調査を受託し、結果を経済産業省へ毎月報告した。調査結果は経済産業省のホームページに毎月公表される「鉄鋼需給統計月報」に掲載された。
- ② 5月分の集計作業に遅延が生じたことから、8月に経産省金属課に、遅延の経緯、原因、再発防止策(集計作業の2人体制化、集計ソフトウェアの改善、調査票提出方法の紙媒体から電子媒体への移行)を報告し、再発防止策を実施した。
- ③ 12月に経産省金属課より、30年度から特殊鋼鋼材需給月報を政府統計として廃止したいとの申し入れがあり、流通委員会&運営委員会メーカー委員合同会議で検討し、流通委員会鋼種別分科会幹事にもメール審議で確認した結果、申し入れを受けざるを得ず、30年度から業界自主統計として継続するとの結論に至った。これを受け、「特殊鋼鋼材需給月報自主統計化アドホックWG」を設置し、自主統計化に向けて検討を行った。

(2) 特殊鋼統計月報の作成、発行

特殊鋼及び主要需要産業の活動状況を網羅する特殊鋼統計月報を作成し、会員会社、関係の官庁及び団体に毎月1回配布した。

2. 特殊鋼輸出・輸入の統計

(1) 特殊鋼輸出船積実績

通関統計に基づき特殊鋼輸出船積実績表を作成し、会員会社に毎月1回配布した。

(2) 海外特殊鋼統計表

海外特殊鋼統計として以下の資料を作成・配布した。

- ① 欧州ミルの東南アジア向けステンレス冷延鋼板輸出実績表…年 4回 ※
- ② ステンレス鋼(鋼板、棒鋼、線材)の世界流通統計……………年 1回

- ③ 中国のステンレス鋼板輸入実績表……………年12回 ※
- ④ 韓国、台湾の中国向けステンレス鋼板輸出実績表……………年 4回 ※
- ⑤ ステンレス鋼板（熱延、冷延）仕向国別輸出実績表……………年12回
- ⑥ 鉄鋼に関する紛争案件一覧表……………年12回

(3) 輸入統計表

輸入モニタリングの一環として、統計解析システムを活用して、関税協会から購入した貿易統計データから、揚げ地別が判別できるような特殊鋼輸入統計表を作成し、会員に毎月1回配布した。

(4) 米国特殊鋼会社（6社）の収益状況を作成・配布した（四半期毎）。

(5) 海外特殊鋼統計の見直し

上記（2）海外貿易統計のうち※印については、ステンレス鋼公正貿易連絡会で検討後、海外委員会専門部会で商社会員の意見聴取を行い、11月15日開催の海外委員会にて、2017年をもって廃止することを決定した。

Ⅲ 定款第4条第3号事業：特殊鋼の貿易保険輸出包括保険に関する業務

1. 貿易保険包括保険特約の締結

『貿易一般保険・包括保険』の保険契約者として、平成29年度について、4月1日付けで株式会社日本貿易保険との間に包括保険の特約を締結した。

2. 包括保険付帯業務の実施

上記包括保険特約締結に伴う保険引き受け等の業務及びこれに付随する業務を毎月度行った。

3. 日本貿易保険の株式会社化への対応

改正貿易保険法施行に伴う、平成29年4月1日独立行政法人から株式会社化への移行に関する保険契約等継承、関連規程の読替対応について、日本鉄鋼連盟、線材製品協会と連携して当たった。

4. 鋼材包括保険申請マニュアルの作成

株式会社日本貿易保険、一般社団法人日本鉄鋼連盟、線材製品協会、一般社団法人特殊鋼倶楽部の4者において、被保険者（商社）が包括保険を申込み際の申請の仕方（記入要領）を解説したマニュアルの作成を進めており、平成30年5月完成を予定している。

5. 安定的な事業継続に向けての検討

現在、上記包括保険を活用している会員企業（商社 12 社）を事務局が訪問し、安定的な事業継続を目指しての協議を行った。これを受け、11月から引継ぎを開始し、3月より事務局職員複数体制で、業務を実施することとした。

6. 貿易保険付保の実績は以下のとおり。

＜ 貿易一般保険・包括保険取扱実績 ＞

	単 位	平成 29 暦年 (A)	平成 28 暦年 (B)	B/A(%)
受付件数	件	35,216	34,966	100.7
輸出契約金額	百万円	392,173	343,302	114.2
保険金額	〃	313,738	274,642	114.2
貿易一般保険	〃	235,304	205,981	114.2
増加費用保険	〃	78,434	68,661	114.2
支払保険料	〃	159.0	138.7	114.6
貿易一般保険	〃	127.6	112.6	113.3
増加費用保険	〃	31.4	26.1	120.3

IV 定款第 4 条第 4 号事業：特殊鋼の生産、消費等の調査研究

1. 国内調査事業

(1) 流通委員会の実施

平成 29 年 3 月の運営委員会、理事会で「未来志向型の取引慣行」に向けて意見交換を行い、①流通委員会で「経産省 3 重点課題（価格決定方法の適正化、コスト負担の適正化、支払条件の改善）」の検討、②流通委員会構造用鋼分科会で、「特殊鋼の紐付き取引・内示問題」の検討を進めることになったことを受け、流通委員会を開催し、流通問題、説明会開催等について議論した。その議論を受けて、流通委員会委員を事務局が訪問し、特殊鋼業が直面する取引問題をヒアリングしとりまとめた。また、会員向けの取引問題説明会、価格交渉サポートセミナーを企画・実施した。

第 1 回 5 月 9 日

議題：①未来志向型の取引慣行に向けて

②「経産省 3 重点課題の徹底」に関する今後の活動方針について

③今後の流通委員会の活動方針について

第 2 回 6 月 20 日

議題：①「金属産業取引適正化ガイドライン」説明会開催のためのヒアリング結果及び経産省への説明依頼内容について

②鋼種別分科会委員登録状況について

③構造用鋼分科会アンケート結果について

第3回 11月10日

議題：①「第2回流通委員会議事録確認」について

②「取引問題説明会結果報告」について

③「価格交渉サポートセミナー結果報告」について

④「鋼種別分科会委員登録」について

⑤「今後の対応」について

上記委員会での検討、平成29年度第2回運営委員会及び第3回理事会での意見交換、流通委員会構造用鋼分科会幹事会&運営委員会メーカー委員合同会議（下記（5）②参照）等での検討の結果、11月30日、経産省金属課に「未来志向型の取引慣行に向けて「世耕プラン」に対する要望」書を提出した。この要望書では、価格決定方法の適正化問題（合理的な説明のない価格低減要請の禁止、原材料価格・エネルギーコストや労務費上昇の取引価格への反映）の改善及び実態調査を要望している。

経産省金属課からの30年度から特殊鋼鋼材需給月報を政府統計として廃止したいとの申し入れを受け、流通委員会&運営委員会メーカー委員合同会議で検討し、政府統計廃止の申し入れを受け入れ、業界自主統計として継続すること、「特殊鋼鋼材需給自主統計化アドホックWG」を設置し、自主統計化に向けて検討することを決定した（Ⅱ1.（1）③参照）。

（2）取引問題説明会の開催

開催日 平成29年9月8日 東京地区（聴講者45名） ※二団体共催

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

開催日 平成29年10月23日 名古屋地区（聴講者57名） ※三団体共催

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

開催日 平成29年10月27日 大阪地区（聴講者39名） ※二団体共催

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

（3）価格交渉サポートセミナーの開催

開催日 平成29年10月19日 東京地区（聴講者55名） ※二団体共催

講師 中小企業診断士 川上 正司 氏

開催日 平成29年11月8日 名古屋地区（聴講者90名） ※二団体共催

講師 中小企業診断士 水口 和美 氏

開催日 平成29年11月9日 大阪地区（聴講者41名） ※二団体共催

講師 中小企業診断士 鹿島 啓 氏

(4) 下請ガイドラインに関する講習会の開催

開催日 平成29年12月19日（聴講者41名） ※二団体共催

講師 弁護士 山口 拓郎 氏

(5) 工具鋼、構造用鋼、ステンレス棒鋼の地区別需給動向調査の実施

① 工具鋼

流通委員会工具鋼分科会幹事会は開催しなかったが、事務局で作成した統計資料を毎月配布した。

経産省金属課からの30年度から特殊鋼鋼材需給月報を政府統計として廃止したいとの申し入れ及び流通委員会&運営委員会メーカー委員合同会議で検討結果を受け、政府統計廃止に致命的な問題点がないことを確認するメール審議を行った(Ⅱ1.(1)③参照)。

② 構造用鋼

上記の通り、平成29年3月の運営委員会、理事会での「未来志向型の取引慣行」に向けた意見交換を受け、流通委員会構造用鋼分科会幹事会を4回、運営委員会メーカー会員等との合同会議を2回開催し、「特殊鋼の紐付き取引・内示問題」について検討を進めた。

また、メンバー企業のアンケート結果等を基に事務局で作成した統計資料を毎月配布した。

第1回 5月31日

議題：「内示問題（構造用鋼の紐付き・量産終了問題及び補給品問題）」に関する今後の活動方針等

第2回 7月5日

議題：『特殊鋼の紐付き取引・内示問題アンケート』集計結果等

第3回 7月26日

議題：『特殊鋼の紐付き取引・内示問題対応』に関する経済産業省金属課との意見交換等

議題：『内示問題に対する製造業者会員の反応』等

第4回 10月17日

議題：『内示問題に対する製造業者会員の反応』について

11月16日『特殊鋼の紐付き取引・内示問題』製販・打合せ

議題：①「第3回構造用鋼分科会幹事会議事録」及び「第4回構造用鋼分科会幹事会議事

録」の確認

②第3回流通委員会の報告

③経産省金属への要望書（案）について

2月20日『「特殊鋼の紐付き取引・内示問題」製・販8社打合せ』

議題：①『「特殊鋼の紐付き取引・内示問題」製・販打合せ』議事録の確認

②内示方式の問題状況の製・販共有について（実態の把握）

③特殊鋼倶楽部からユーザーへの要望について（案）

④『経営者向けセミナー「価格交渉に強い会社の作り方」』について

経産省金属課からの30年度から特殊鋼鋼材需給月報を政府統計として廃止したいとの申し入れ及び流通委員会&運営委員会メーカー委員合同会議で検討結果を受け、政府統計廃止に致命的な問題点がないことを確認するメール審議を行った(Ⅱ1.(1)③参照)。

③ ステンレス棒鋼

流通委員会ステンレス棒鋼分科会は幹事会は開催しなかったが、メンバー企業のアンケート結果等を基に事務局で作成した統計資料を毎月配布した。

経産省金属課からの30年度から特殊鋼鋼材需給月報を政府統計として廃止したいとの申し入れ及び流通委員会&運営委員会メーカー委員合同会議で検討結果を受け、政府統計廃止に致命的な問題点がないことを確認するメール審議を行った(Ⅱ1.(1)③参照)。

2. 需要見通し説明会

(1) 経済産業省の特殊鋼鋼材の毎四半期需要見通し説明会の実施 年4回

流通委員会の活動として経済産業省の特殊鋼需要見通し説明会を以下のとおり開催した。

① 「平成29年度第1・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成29年4月6日 東京地区（聴講者31名）

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

開催日 平成29年4月10日 大阪地区（聴講者47名） ※二団体共催

講師 経済産業省 製造産業局金属課計画係長 佐藤 淳一 氏

② 「平成29年度第2・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成29年7月4日 東京地区（聴講者29名）

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

③ 「平成29年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成29年10月10日 東京地区（聴講者33名）

講師 経済産業省 製造産業局金属課計画係長 中村 純也 氏

開催日 平成29年10月23日 名古屋地区（聴講者55名） ※三団体共催

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

開催日 平成29年10月27日 大阪地区（聴講者43名） ※二団体共催

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

④ 「平成29年度第4・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成29年12月25日 東京地区（聴講者23名）

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

3. 海外調査事業

(1) 説明会

① 28年度海外市場調査事業の報告説明会

演題 欧米の特殊鋼需給動向調査

講師 神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部調査二部 チーフアナリスト 野尻 英一氏

開催日 平成29年7月19日 （聴講者46名）

② 安全保障貿易説明会

国際的な安全の維持・確保における、通常兵器の過度な蓄積の防止と大量破壊兵器等の不拡散を目的とした安全保障貿易管理の最近の状況について日本鉄鋼連盟、ステンレス協会との共催により説明会を開催した。

演題 「安全保障貿易管理」

講師 経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部

安全保障貿易審査課 上席安全保障貿易審査官 寺内 純子 氏

安全保障貿易検査官室 安全保障貿易管理検査等職員 佐藤 長光 氏

開催日 平成29年7月6日 （聴講者93名）

③ 2017年不公正貿易報告書説明会 流通海外展開委員会と共催

演題 「不公正貿易報告書と取組方針について」

「新興国における課税問題およびBEPS（税源浸食と利益移転）プロジェクトへの対応について」

「EPA/FTA（経済連携協定/自由貿易協定）の活用について」

「投資協定及び投資協定仲裁の概要」

「我が国の貿易救済措置について（アンチダンピング措置を巡る世界の情勢及び日本の制度とその活用手続き）」

講師 経済産業省

通商政策局通商機構部国際経済紛争対策室 参事官補佐 高崙直子氏

貿易経済協力局投資促進課 課長補佐 竹村成彦氏

通商政策局経済連携課 吉田拓也氏

貿易経済協力局貿易管理部特殊関税等調査室 係長 小松慶太氏

開催日 平成29年8月29日 (聴講者30名)

(2) 29年度海外市場調査事業

29年度は海外市場調査テーマとして「インドの特殊鋼需給動向調査」を選定し、デロイトトーマツコンサルティング合同会社に委託した。

7月12日の海外委員会専門部会において企画書内容を検討し、調査を開始した。

10月11日の海外委員会専門部会において中間報告内容を検討した。

2月21日の専門部会において最終報告内容を検討した。

デロイトトーマツコンサルティングにて修正した報告書の内容を、部会長と事務局にて確認し、近々、印刷会社に送付予定。

(3) 顧問弁護士を通じた海外通商動向調査

海外通商動向調査のため米国、カナダは、鉄連、線材製品協会と共同で弁護士をリテイン（特殊鋼倶楽部の負担率は5%）し、中国は、鉄連と共同で弁護士をリテイン（特殊鋼倶楽部の負担率は5%）、顧問弁護士から得られる国際鉄鋼貿易問題及び対日AD提訴に係わる情報を会員企業に報告した。

「米国における鉄鋼輸入に対する通商拡大法232条に基づく調査」について、日本鉄鋼業界全体として対応するため、鉄連、ステンレス協会、線材製品協会、日本鑄鍛鋼会と共同で弁護士と契約（特殊鋼倶楽部の負担率は5%）し、日本鉄鋼業界共同意見書提出（5月31日）及び情報収集を行った。

(4) 特殊鋼貿易問題対応負担金に係わる業務

特殊鋼の新規WTO案件が発生した場合に備え負担金の積み増しを行った。

1月19日の理事会（書面審議）にて、当倶楽部が主体となってWTO提訴対応できるよう特殊鋼倶楽部貿易問題対応負担金管理規程を改正するとともに、WTO提訴用の弁護士費用を支出できるよう補正予算を作成した。

(5) 輸出入統計品目表改正への対応

経済産業省から2018年輸出入統計品目表改正に係る新設及び統合について意見照会があり、海外委員会委員会に確認した。財務省から提示された統合案については、統合不可と回答

し対応した。財務省より10月31日付けで2018年輸入統計品目（HS）改正の告示があり、鉄鋼関係については2017年輸出入統計品目表から変更がない。

(6) ステンレス鋼公正貿易連絡会

特殊鋼倶楽部の海外委員会ステンレス鋼板分科会、ステンレス条鋼分科会及びステンレス協会公正貿易委員会による合同会合（ステンレス鋼公正貿易連絡会）を原則月一回の頻度で開催している。ステンレス鋼板類、条鋼類の輸出入問題対応及び通商摩擦問題に対する一義的な相談窓口を活動内容とし、情報交換を行った（4月25日、5月24日、6月21日、7月26日、8月30日、9月27日、10月24日、11月22日、12月21日、1月26日、2月20日、3月20日）。韓国からの輸入状況、台湾向け輸出および台湾からの輸入状況、中国からの輸入状況の定期的確認に加えて、以下のステンレス鋼輸出通商案件に対応した。

[ステンレス鋼輸出通商案件]

①インド強制規格関係（2015年8月25日TBT通報）

2017年4月27日：官報告示

6月5日：施行日の延長を要望する書簡を発信（鉄鋼省及びBIS宛）

7月20日-21日：インドミッション実施

11月1日：検査方法を確認する書簡を発信（鉄鋼省宛）

11月30日：意見書提出（19品目追加に関するパブコメ）

12月5日：検査方法及び検査日を確認する書簡を発信（鉄鋼省宛）

12月8日：検査方法を確認する書簡を発信（BIS宛）

12月11日-13日：インドミッション実施

12月26日：日本側の輸出状況調査結果を送付する共に施行延期を要望する書簡を発信（鉄鋼省宛）

2018年2月28日-3月2日：

インドミッション実施

②韓国ステンレス棒鋼AD第3回サンセットレビュー関係

（オリジナル調査開始2003年7月5日）

2017年6月2日：韓国企画財政部AD税賦課延長を公布

2018年1月23日：経済産業省への要請書を発信

③米国ステンレス棒鋼AD第4回サンセットレビュー関係

（オリジナル調査開始1994年1月27日）

2017年7月3日：ITCサンセットレビュー調査開始

11月6日：DOCがクロ決定（ITCは調査継続）

[会合関係]

①鉄鋼対話（4回）

日尼鉄鋼対話：2017年5月19日 ジョグジャカルタ

日台鉄鋼対話：2017年7月10日 台北

日中鉄鋼対話：2017年9月21日 北京

日韓鉄鋼対話：2017年11月6日 ソウル

②韓国ステンレス棒鋼サンセット関連打合せ（10回）

③米国ステンレス棒鋼サンセット関連打合せ（7回）

（7）個別通商問題

① 米国における厚板AD調査（工具鋼関係）

5月5日に米国国際貿易委員会は、日本製厚板に対するアンチダンピング調査の結果、「損害あり」との最終決定を下した。本調査の対象に工具鋼が含まれていることから、海外委員会委員で関係する会社（メーカー2社）で経産省にも助言を頂きつつ協調対応してきたが、米国国際貿易委員会は、これらの主張を退けたため、5月12日に、特殊鋼倶楽部会長コメントを報道発表するとともにホームページに掲載して、遺憾の意を表明した。

日本の工具鋼生産者2社は、USCIT (United States Court of International Trade) に上訴を行った。

② 韓国におけるステンレス棒鋼AD第3次サンセットレビュー調査

本件に対し、海外委員会委員で関係する会社（メーカー3社）は経産省や日本鉄鋼連盟にも助言を頂きつつ協調対応してきたが、29年3月17日に韓国貿易委員会は、ステンレス棒鋼に対するADを継続する旨韓国企画財政部に対して建議した。韓国企画財政部は韓国貿易委員会の調査結果を妥当と判断し、6月2日にAD措置の延長に関する公布を行った。

2018年1月23日に経済産業省へ要請書を提出した。

③ 米国におけるステンレス棒鋼AD第4次サンセットレビュー調査

7月3日に米国国際貿易委員会は、調査手続きを開始した、これに対して、海外委員会委員で関係する会社（メーカー3社）は、8月2日に協調して調査対応した。

11月6日に米国商務省はクロ最終決定（簡易 Review）。現在米国国際貿易委員会で調査中（Full Review）。

4. 流通海外展開事業

流通海外展開委員会を1回開催（7月11日）し、本年度の事業として、以下の説明会・講演会を開催することを決定した。

（1）「2017年版不公正貿易報告書」説明会

経済産業省通商政策局が作成している「不公正貿易報告書」の解説と、海外投資における問題点等について、海外委員会との共催で開催した（3.（1）③参照）。

（2）「中国進出日系企業によくある問題事例とその対応策」講演会

当倶楽部・流通海外展開委員会の目的である特殊鋼流通の海外展開に資する事業の一環として、日系企業が多く進出している中国にスポットを当て、開催した。

開催日 平成29年10月16日（参加者43名）

内 容 ①経営上のよくある問題事例・対応策
②事業拡大策（非日系自動車・自動車部品メーカーへの取引拡大等）
③撤退上のよくある問題事例・対応策
④撤退に備えた進出&オペレーション時のポイント（中国企業との合弁、日系100%出資企業での相違点含む）

講 師 日本貿易振興機構（JETRO）海外調査部中国北アジア課課長代理 島田英樹 氏

V 定款第4条第5号事業：特殊鋼に関する内外関係機関等との交流及び協力

1. 安全保障貿易情報センターとの交流及び協力

29年度の安全保障輸出管理委員会活動に参加した。

29年度第1回委員会（6月14日に開催）及び第2回委員会（3月14日に開催）に出席した（予定）。

2. ステンレス協会（再掲）

特殊鋼倶楽部及びステンレス協会共同で、ステンレス鋼公正貿易連絡会を開催した。

3. 日本鉄鋼連盟

特殊鋼での個別通商問題の未然防止、早期対応に備え、普通鋼を含む鉄鋼全般の通商問題状況を把握するために、日本鉄鋼連盟の拡大通商WGに出席し情報交換を行った（4月18日、5月23日、6月20日、8月22日、9月19日、10月24日、11月14日12月12日、1月16日、2月14日、3月13日）。

4. 日本貿易振興機構（JETRO）との交流及び協力

日本貿易振興機構（JETRO）からの各種情報を入手し、会員企業へ報告した。

VI 定款第4条第6号事業：その他本会の目的を達成するために必要な事業

1. 新年賀詞交換会の開催

平成30年1月5日（金）にホテルニューオータニにて恒例の平成30年の新年賀詞交換会を開催した。参加者数は約700名であった。石黒会長の挨拶、来賓を代表して経済産業省多田製造産業局長の挨拶、高木副会長の乾杯の音頭の後、賀詞交換を行った。

2. 統括部業務（庶務、経理等）の実施及び継続的改善

公認会計士の指導を受け、経理業務を実施した。

倶楽部が加入していた厚生年金基金の平成28年度末解散を受け、退職した職員に対しての補填対応を実施した。

会長からの委員委嘱状発出等、各種委員会委員長及び委員委嘱手続きの明確化を図った。

職員の残業時間短縮、働き方改革に向け、残業時間の多い職員についての改善策を検討し対応を実施中。

会員サービスの向上に向け、貿易保険に関する当倶楽部実施体制の変更、公認会計士の助言を得つつ電子メール管理内規の検討を進めた。

VII 総務関連活動

1. 総会

- ・ 第36回定時総会を平成29年5月26日に開催した。

正会員総数124社のうち定足数(2分の1以上62社)を満たし86社出席のもと、下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：平成28年度事業報告について

第2号議案：平成28年度決算報告について

第3号議案：平成28年度公益目的支出計画実施報告の件

第4号議案：役員改選の件

2. 理事会

- ・ 平成29年度第1回理事会（書面審議）を5月11日に開催した（全員出席）。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：平成28年度事業報告について

第2号議案：平成28年度決算報告について

第3号議案：平成28年度公益目的支出計画実施報告の件

第4号議案：役員改選の件

第5号議案：第45回東京モーターショー協賛の件

第6号議案：第36回定時総会招集の件

- ・ 平成29年度第2回理事会を5月26日第36回定時総会後に開催した。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

審議事項：会長、副会長、専務理事の選定の件

- ・ 平成29年度第3回理事会を10月25日に開催した。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

- 第1号議案：平成29年度事業の進捗状況について
- 第2号議案：平成29年度会計中間報告について
- 第3号議案：平成29年度下期の事業予定について
- 第4号議案：各種委員会委員長及び委員委嘱について
- 第5号議案：新規入会（正会員）承認について
- 第5号議案：新役員体制の活動重点項目について

- ・平成29年度第4回理事会（書面審議）を1月19日に開催した。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

- 第1号議案：韓国ステンレス棒鋼ADサンセット見直し調査に関する経済産業省への要請等について
- 第2号議案：特殊鋼貿易問題対応負担金管理規程の改正について
- 第3号議案：平成29年度予算（海外委員会 特殊鋼貿易問題対応事業）の補正について
- 第4号議案：新規入会（正会員）承認について
- 第5号議案：「平成29年度入会金及び会費徴収方法」の改正について

- ・平成29年度第5回理事会（書面審議）を3月30日に開催した。

下記議案について、理事及び監事全員の了承を得て、以下について書面決議を行った。

- 第1号議案：平成29年度事業報告について
- 第2号議案：平成29年度決算見込みについて
- 第3号議案：平成30年度事業計画について
- 第4号議案：平成30年度予算について
- 第5号議案：新規入会（正会員）承認について
- 第6号議案：平成30年度入会金及び会費・賦課金徴収方法について
- 第7号議案：平成30年度貿易一般保険包括保険特約の締結について
- 第8号議案：各種委員会委員長及び委員変更について
- 第9号議案：「特殊鋼鋼材需給月報」（特殊鋼流通における鋼種別の受入・販売・在庫統計）の政府統計廃止及び業界自主統計化について
- 第10号議案：会長・専務理事の業務執行状況報告

3. 運 営 委 員 会

- ・平成29年度第1回運営委員会、総務・財務分科会合同委員会（書面審議）を5月10日

に開催した。

下記議案について、委員全員の了承を得て、以下について書面決議を行った。

第1号議案：平成28年度事業報告の件

第2号議案：平成28年度決算報告の件

第3号議案：平成28年度公益目的支出計画実施報告書の件

第4号議案：役員改選の件

第5号議案：第45回東京モーターショー協賛の件

- ・平成29年度第2回運営委員会を10月19日に開催した。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：平成29年度事業の進捗状況について

第2号議案：平成29年度会計中間報告について

第3号議案：平成29年度下期の事業予定について

第4号議案：各種委員会委員長及び委員委嘱について

第5号議案：新規入会（正会員）承認について

第5号議案：新役員体制の活動重点項目について

- ・平成29年度第3回運営委員会、第2回運営委員会総務・財務分科会合同委員会を1月12日に開催した。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：韓国ステンレス棒鋼ADサンセット見直し調査に関する経済産業省への要請等について

第2号議案：特殊鋼貿易問題対応負担金管理規程の改正について

第3号議案：平成29年度予算（海外委員会 特殊鋼貿易問題対応事業）の補正について

第4号議案：新規入会（正会員）承認について

第5号議案：「平成29年度入会金及び会費徴収方法」の改正について

- ・平成29年度第3回運営委員会総務・財務分科会を3月14日に開催した。

下記議案について審議の結果、第5回理事会付議事項の両分科会案として平成29年度第4回運営委員会に上程することとした。

第1号議案：平成29年度事業報告案について

第2号議案：平成29年度決算見込みについて

第3号議案：平成30年度事業計画案について

第4号議案：平成30年度予算案について

第5号議案：新規入会（正会員）承認について

第6号議案：平成30年度入会金及び会費・賦課金徴収方法について

第8号議案：各種委員会委員長及び委員変更について

第9号議案：「特殊鋼鋼材需給月報」（特殊鋼流通における鋼種別の受入・販売・在庫統計）の政府統計廃止及び業界自主統計化について

（「第7号議案：平成30年度貿易一般保険包括保険特約の締結について」は海外委員会で審議）

- ・平成29年度第4回運営委員会を3月16日に開催した。

下記議案について審議の結果、運営委員会案として平成29年度第5回理事会に上程することとした。

第1号議案：平成29年度事業報告案について

第2号議案：平成29年度決算見込みについて

第3号議案：平成30年度事業計画案について

第4号議案：平成30年度予算案について

第5号議案：新規入会（正会員）承認について

第6号議案：平成30年度入会金及び会費・賦課金徴収方法について

第8号議案：各種委員会委員長及び委員変更について

第9号議案：「特殊鋼鋼材需給月報」（特殊鋼流通における鋼種別の受入・販売・在庫統計）の政府統計廃止及び業界自主統計化について

（「第7号議案：平成30年度貿易一般保険包括保険特約の締結について」は海外委員会で審議）

VIII 支 部 活 動

1. 名古屋支部

(1) 第48回定時総会（平成29年6月8日）

(2) 第1回運営委員会（平成29年4月25日）

(3) 第1回人材確保育成委員会（平成30年2月22日）

(4) 部会

①構造用鋼部会……4回 ②工具鋼部会……4回 ③ステンレス鋼部会……3回

④企画部会……1回

(5) 講演会

① 「歴史に学ぶ人材活用」

講師 静岡大学名誉教授 小和田 哲男 氏

開催日 平成29年6月8日(総会終了後) (聴講者45名)

② 「松下幸之助の経営哲学」

講師 公益財団法人松下社会科学振興財団 松下資料館 顧問 川越 森雄 氏

開催日 平成29年11月15日 (聴講者80名)

③ 「日本冶金の高機能材の特徴と適用例」

講師 日本冶金工業(株)ソリューション営業部 部長 大森 勉 氏

開催日 平成30年2月23日 (聴講者95名)

(6) 説明会

① 「特殊鋼業界及び関係他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」(三団体共催)
(再掲)

講師 神鋼リサーチ(株) 北浦 伸幸 氏

開催日 平成29年6月20日 (聴講者35名)

② 「自動車産業をめぐる最近のトピックス」(三団体共催) (再掲)

講師 日本自動車工業会調査・電子情報システム室 室長 持田 弘喜 氏

開催日 平成29年7月14日 (聴講者83名)

③ 「平成29年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」(三団体共催) (再掲)

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

開催日 平成29年10月23日 (聴講者55名)

④ 取引問題説明会(三団体共催) (再掲)

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治氏

開催日 平成29年10月23日 (聴講者57名)

⑤ 価格交渉サポートセミナー(二団体共催) (再掲)

講師 (株)ARU 代表取締役 中小企業診断士 水口 和美氏

開催日 平成29年11月8日(聴講者90名)

(7) 見学会

① 海外工場視察(二団体共催)

見学先

PT.Meitoku-Wadayama indonesia

PT. FUJIMAKI STEEL INDONESIA

PT. King Duan industrial indonesia

PT. IBARA LIOHO INDONESIA

開催日 平成29年12月13日～17日 (参加者17名)

② 優良企業 (三団体共催)

見学先 独立行政法人 造幣局 (大阪市)

サントリー京都ブルワリー (長岡京市)

開催日 平成29年10月11日 (参加者26名)

(8) 新入社員研修 (二団体共催)

開催日 平成29年4月26日 (参加者59名)

① 工場見学「愛知製鋼株式会社 知多工場」

② 講義その1「特殊鋼の基礎知識」

講師 愛知製鋼株式会社 松井 達哉 氏

③ 講義その2「社会人としての基礎マナー」

講師 キャプラン株式会社 時久 麗香 氏

(9) 中堅社員研修 (二団体共催)

テーマ 「問題解決力向上講座」

講師 (株)名南経営コンサルティング 山田 亮太 氏

開催日 平成29年10月25日 (参加者29名)

開催日 平成30年2月21日 フォローアップ研修 (参加者29名)

(10) 特殊鋼教養講座(新人・若手社員向け)「特殊鋼業の未来と求められる人物像」 (再掲)

講師 特殊鋼倶楽部 専務理事 小澤 純夫

開催日 平成29年9月28日 (参加者38名)

(11) 管理職研修 (二団体共催)

テーマ 「管理職に必要な計数管理力と財務の基礎知識」

講師 (株)名南経営コンサルティング 山田 亮太 氏

開催日 平成29年11月28日 (参加者40名)

(12) 若手及び女性社員研修 (二団体共催)

テーマ「和食のマナー講座」

講師 河文若女将 香川 絢子 氏

開催日 平成30年2月27日 (参加者53名)

(13) 平成30年新年賀詞交換会 (三団体共催)

開催日 平成30年1月10日 (参加者430名)

(14) その他 (他団体事務局業務の受託)

名古屋ステンレス流通協会から平成29年度より事務局業務を受託した。

2. 大阪支部

(1) 第48回定時総会 (平成29年6月16日)

(2) 運営委員会

① 第1回運営委員会 (平成29年5月23日)

② 第2回運営委員会 (平成30年2月27日)

(3) 会計監査 (平成29年5月23日)

(4) 新年賀詞交換会 (三団体共催)

開催日 平成30年1月5日 (参加者763名)

(5) 特殊鋼三団体責任者会議

① 第1回特殊鋼三団体責任者会議(平成29年8月30日)

- ・ 講演会他本年共催事業検討
- ・ 各団体秋季事業のすり合わせ他

② 第2回特殊鋼三団体責任者会議(平成29年12月4日)

- ・ 賀詞交換会他本年共催事業検討

(6) 講演会

① 「自動車産業をめぐる最近のトピックス」 (三団体共催) (再掲)

講師 日本自動車工業会 調査・電子情報システム室 室長 持田 弘喜 氏

開催日 平成29年7月13日 (聴講者78名)

② 「共催講演会」 (三団体共催)

演題 「憲法改正と日本の自立」

講師 ケント・ギルバート 氏

開催日 平成29年12月4日 (聴講者84名)

(7) 説明会

① 「平成29年度第1四半期の特殊鋼需要見通し」 (二団体共催) (再掲)

講師 経済産業省 製造産業局金属課計画係長 佐藤 淳一 氏

開催日 平成28年4月18日 (聴講者44名)

- ② 「特殊鋼業界及び関連他業界等におけるBCP対応に関する調査報告書」 (再掲)

講師 神鋼リサーチ(株)産業戦略情報本部 北浦 伸幸 氏

開催日 平成29年6月19日 (聴講者38名)

- ③ 「平成29年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」 (二団体共催) (再掲)

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

開催日 平成29年10月27日 (聴講者43名)

- ④ 取引問題説明会 (二団体共催) (再掲)

講師 経済産業省 製造産業局金属課課長補佐 岡田 治 氏

開催日 平成29年10月27日 (聴講者 39名)

- ⑤ 価格交渉サポートセミナー (二団体共催) (再掲)

講師 中小企業診断士 鹿島 啓 氏

開催日 平成29年11月9日 (聴講者41名)

(8) 研修

- ① 特殊鋼教養講座(新人・若手社員向け)「特殊鋼業の未来と求められる人物像」 (再掲)

講師 特殊鋼倶楽部 専務理事 小澤 純夫

開催日 平成29年9月22日 (参加者43名)

(9) 工場見学会 (二団体共催)

見学先 新日鐵住金株式会社 名古屋製鉄所

開催日 平成30年2月23日

(10) 会員交流

第16回関西特殊鋼ゴルフ大会 (二団体共催)

会場 鳴尾ゴルフ倶楽部

開催日 平成29年10月11日

IX 総 務 事 項

1. 会員の異動

1) 入会

平成29年10月25日の平成29年度第3回理事会において、株式会社広島メタル&マシナリー(製造業者会員)の入会を承認した。資格取得日は平成29年10月1日付。

平成30年1月19日の平成29年度第4回理事会において、高周波熱錬株式会社(製造業者会員)の入会を承認した。資格取得日は平成29年10月1日付。

2) 入会申込

＜入会申込者（入会申込日順）＞	＜会員資格取得希望日＞
リントツ株式会社（販売業者会員）（再入会）	平成30年4月1日
住友商事グローバルメタルズ株式会社（販売業者会員） （海外委員会のみ）	平成30年4月1日
株式会社トーキン（販売業者会員）	平成30年4月1日

3) 設立時及び過去5年の会員数の推移は次表の通り（注）カッコ内は地方会員で内数

年 度	正 会 員		
	メーカー	販 売 業 者	合 計
創 立 時	31社	125社（41社）	156社
平成24年度末	25社	105社（40社）	130社
平成25年度末	25社	102社（40社）	127社
平成26年度末	24社	102社（40社）	126社
平成27年度末	23社	100社（39社）	123社
平成28年度末	24社	100社（39社）	124社
平成29年度末	26社	100社（39社）	126社

2. 公認会計士による助言、指導（平成29年4月～30年3月）

柳原公認会計士から業務、経理実務について助言、指導を受けた。

3. 役員状況 30年3月末日現在の役員名は、次表の通り。

役員名簿

(社名は50音順)

平成30年3月31日現在

役名	氏名	会社名	役職名
会長(代表理事)	石黒武	大同特殊鋼(株)	代表取締役社長
副会長	山中敏幸	愛知製鋼(株)	お客様本部本部長上級執行役員
同	佐久間貞介	佐久間特殊鋼(株)	代表取締役執行役員社長
同	高木清秀	(株)メタルワン	常務執行役員 線材特殊鋼・ステンレス本部長
専務理事(代表理事)	小澤純夫	(一社)特殊鋼倶楽部	事務局 局長
理事	西村悟	(株)神戸製鋼所	執行役員
同	富永真市	山陽特殊製鋼(株)	取締役専務執行役員 東京支社長
同	須田守	JFEスチール(株)	常務執行役員
同	松岡弘明	新日鐵住金(株)	執行役員棒線事業部長
同	土屋敦	日新製鋼(株)	常務執行役員
同	山下匡史	日本金属(株)	常務取締役 開発・営業本部本部長
同	久保田尚志	日本冶金工業(株)	代表取締役専務執行役員営業本部長
同	佐藤光司	日立金属(株)	特殊鋼カンパニープレジデント執行役員
同	関根博士	三菱製鋼(株)	取締役
同	青山信一	青山特殊鋼(株)	代表取締役社長
同	増井平	浅井産業(株)	代表取締役社長
同	須和俊敦	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	取締役兼常務執行役員
同	野坂哲嗣	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)	代表取締役社長
同	井上寿一	井上特殊鋼(株)	代表取締役社長
同	岸本則之	(株)UEX	代表取締役社長
同	池田祐司	三興鋼材(株)	代表取締役社長
同	石崎順	JFE商事(株)	執行役員ステンレス特殊鋼本部長
同	塩見圭吾	住友商事(株)	執行役員自動車金属製品本部長
同	竹内誠二	(株)竹内ハガネ商行	代表取締役社長
同	林静	豊田通商(株)	常務執行役員
同	中川陽一郎	中川特殊鋼(株)	取締役社長
同	野村有一	日鉄住金物産(株)	取締役専務執行役員
同	三上聰彦	ノボル鋼鉄(株)	取締役会長
同	湊義明	野村鋼機(株)	代表取締役社長
同	芹澤浩	阪和興業(株)	代表取締役副社長執行役員
同	平井俊夫	(株)平井	代表取締役社長
同	勝登	三井物産(株)	常務執行役員鉄鋼製品本部長
同	古賀康友	(株)メタルワン特殊鋼	取締役社長
同	藤原久芳	ヤマト特殊鋼(株)	代表取締役社長
監事	久留島靖章	日本高周波鋼業(株)	代表取締役専務取締役営業本部長
同	北信一	大洋商事(株)	代表取締役社長
同	根来龍之	早稲田大学	ビジネススクール教授

X 事業報告の附属明細書

附属明細書に記載すべき事項は特になし。